

糖尿病

診断と管理の指標に関するリーフレット

2013年4月1日から
国際標準化に伴い

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1c

の表記が統一されます。

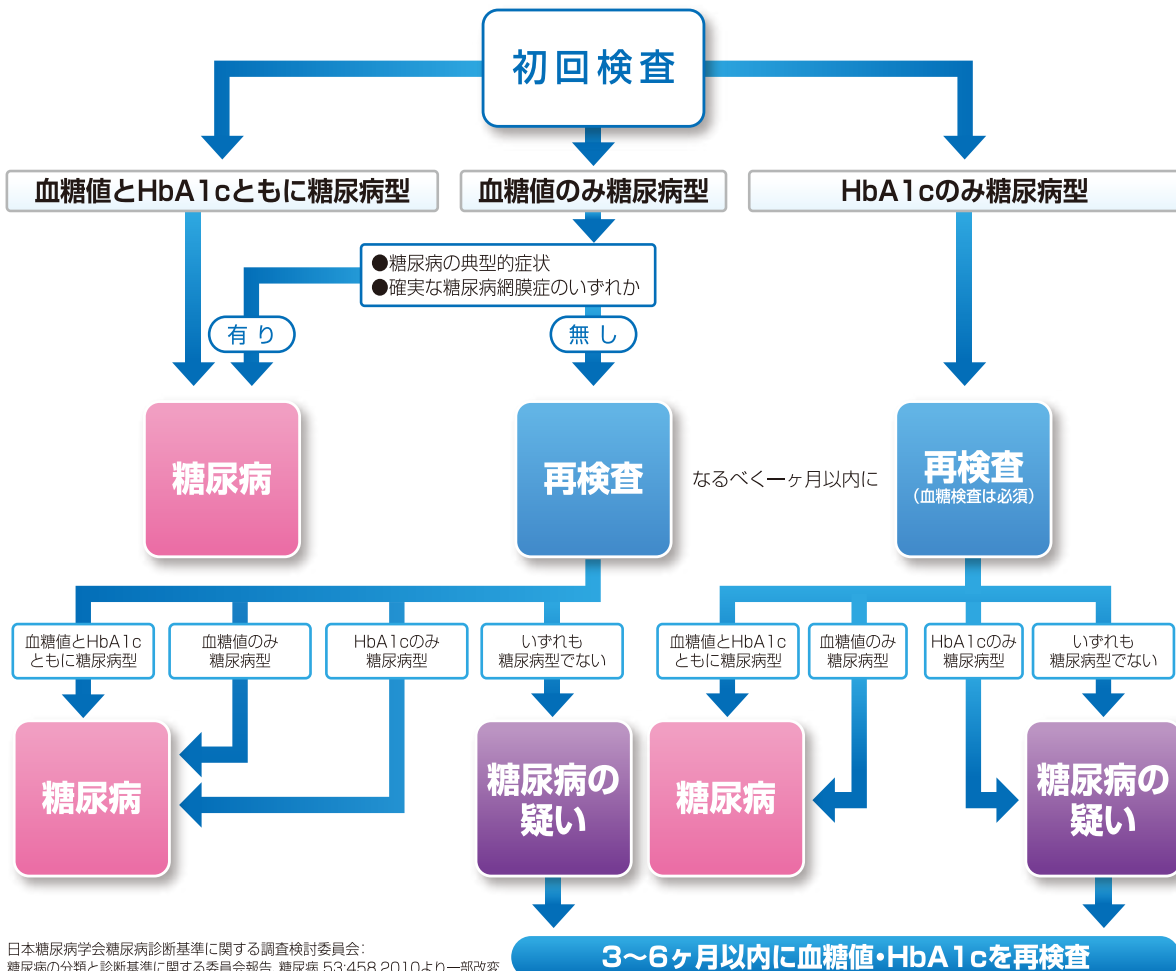
監修 / 日本糖尿病対策推進会議

お問い合わせ先 日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/> 日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>

糖尿病の臨床診断のフローチャート

糖尿病型

血糖値(空腹時 $\geq 126\text{mg/dL}$ 、OGTT2時間 $\geq 200\text{mg/dL}$ 、
随時 $\geq 200\text{mg/dL}$ のいずれか)
HbA1c(NGSP:世界標準の数値) $\geq 6.5\%$
[HbA1c(JDS:日本でこれまで使われてきた数値) $\geq 6.1\%$]



糖尿病型と血糖値の判定区分

糖尿病型の定義

【血糖値】

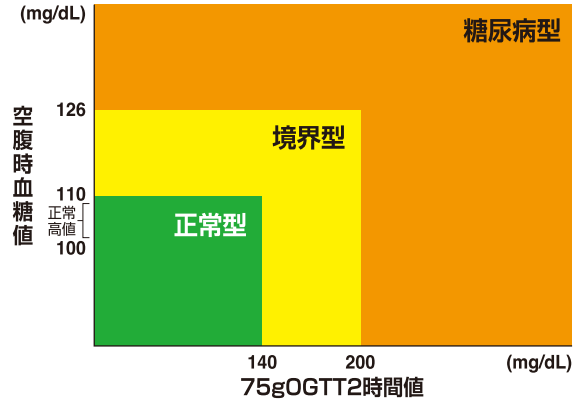
- ① 空腹時血糖値 ≥ 126 mg/dl
- ② 75g経口糖負荷試験(OGTT)2時間値 ≥ 200 mg/dl
- ③ 随時血糖値 ≥ 200 mg/dl

【HbA1c】*

- ④ HbA1c(NGSP) $\geq 6.5\%$
[HbA1c(JDS) $\geq 6.1\%$]

*HbA1cには、国際的に広く使用されているNGSP値で表記されたHbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきたJDS値で表記されたHbA1c(JDS)があり、およそ0.4%異なる。2013年4月より特定健診等ではNGSP値のみが使用される。日常臨床においても、2014年3月までにNGSP単独表記となる。

血糖値の判定区分



血糖コントロール目標

NGSP値に統一

血糖正常化を目指す際の目標

※適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

HbA1c
6.0%
未満

合併症予防のための目標

※合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

HbA1c
7.0%
未満

治療強化が困難な際の目標

※低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

HbA1c
8.0%
未満

コントロール目標値

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、個別に設定します。いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠期は除くものとします。

※HbA1cの目標値は、2013年6月1日から変更となります。以前のHbA1c(JDS)の数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。